

セレノグラフィカ

Selenographica
(隅地 茉歩 + 阿比留 修一)

Selenography(月面地理学)+icaで(月究学派)の意。

関西を拠点に国内外、屋内外を問わず幅広く活動を展開する結成23年のダンスカンパニー。緻密な身体操作から繰り出されるその不思議で愉快的なダンスは、多くの世代に受け入れられている。隅地茉歩は「踊るぬいぐるみ」、阿比留修一は「かかとの無い男」とあだ名され、公演やワークショップ含め、北海道から沖縄まで全国各地へ遠征の日々を送る。また、500を超える教育機関へのアウトリーチも行い、幼稚園や小学校では「まほさん、あびちゃん」として人気。

所属カンパニー セレノグラフィカ

ホームページ <http://www.selenographica.net>

連絡先(担当) 阿比留 修一(技術面は岩村原太)

住 所 〒607-8079 京都市山科区音羽前出町29-1 ファインフラッツ山科音羽401号室

電 話 075-501-7904

F A X 075-501-7904

E - m a i l info@selenographica.net

在 住 地 隅地 茉歩(京都府京都市) 阿比留 修一(兵庫県三田市)

出 身 地 隅地 茉歩(徳島県徳島市) 阿比留 修一(大阪府大阪市)



Photo:平野愛

活動歴・受賞歴

活動歴

【主な上演歴】

〈1997年〉カンパニー結成『無伴奏の月』上演(京都市)

〈2006年〉TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005受賞者
公演(東京都)

〈2006~08年〉『それをすると』/『樹下の双魚』欧州、豪州、
韓国ツアー(リヨン、パリ、ロンドン、パース、釜山)

〈2014~15年〉『あなたとわたし、ワルツ』/『Dance×Jazzvol5』(八戸市)

〈2015年〉『びびきあう〜音と身体で感じるみずかみかずよの
世界』(北九州市)

〈2017年〉セレノグラフィカ結成20周年記念作品『とこしえに』
発表(上田市)

〈2019年〉「ダンス×音楽 実験的音楽空間〜 REFINE〜音も身体も」(北九州市)

【継続中のプロジェクト】

〈2014年〜〉『レインボードロッププロジェクト』(北九州市)

〈2015年〜〉『夜のことばプロジェクト』(京都市、伊丹市)

〈2018年〜〉『ダンスによる自己肯定感向上プロジェクト』(京都市)

【ダン活、ダン活支援歴】

ダン活9か所(奈良市、山県市、富田林市、坂井市、上川郡鷹栖町、
笛吹市、名寄市、西宮市、鶴岡市)

ダン活支援のべ14か所(坂井市、上川郡鷹栖町、茅野市、山県市、
北広島市、春日井市、舞鶴市、東松山市、近江八幡市、清水市、西宮市)

○受賞歴

〈1996年〉阿比留修一 平成8年度大阪府芸術劇場奨励新人に認定。

〈2005年〉隅地 茉歩 TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005
「次代を担う振付家賞」(グランプリ)受賞。

ワークショップ歴

○大阪府障がい者オープンカレッジ・ダンスコース講師(堺市/2006~11年)

○(一財)地域創造ステージラボ講師(宇都宮市/2012年、札幌市/2015年、上田市/2016年、高知市/2017年、横浜市/2018年、大津市/2018年、いわき市/2019年)

○Vフォーマンスキッズ・トーキョー(東京都/2012、2014、2018年)

○劇場芸術講師(北九州市/2013、2014、2016、2019年)

○ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業(京都市/2007年~継続中)

○キタQアーティストふれあいプログラム(北九州市/2012年~継続中)

○文化芸術による子供育成総合事業~コミュニケーション能力向上事業(全国各地/2012年~継続中)

○こちかぜキッズダンス(京都市/2014年~継続中)

○じぶんみがきダンス(京都市/2016年~継続中)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①幼稚園、保育所で

最初にセレノグラフィカのダンスを見てもらい、続いて3種のダンス遊びを体験、最後には皆で仲良く汗をかき、愉快地に踊るプログラムです。

②小学校(特別支援学級を含む)、中学校で

こちらも始めにセレノグラフィカのダンスを見てもらってからスタート。ダンスに関心のある子も無い子も、ダンスが得意な子も苦手な子も、一緒に身体を動かして、その子ならではの楽しさを発見できるプログラムです。

③教員対象で

ダンスの授業やクラス運営にも応用の効く様々なボディワークを実践し、質疑応答の時間も設けて、先生たちのダンスに対する率直な声に応えていくプログラムです。

④福祉施設、高齢者施設で

まずは短くセレノグラフィカのダンスを披露し、その後ゆっくり目に負担の少ないメニューを選んで進行します。参加者のコンディションに繊細に対応し、踊ることの楽しさに触れていただくプログラムです。

▶参加適性人数：20~40名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間：1コマ90分として2コマ▶必要機材：CDデッキ、ワイヤレスマイク等

公募ワークショップ

①ほくしてみようワークショップ

少し丁寧にストレッチの時間を取り、参加者が自分の身体の癖に気づいていく中で、身体感覚をじっくりと高めていけるワークショップです。

②踊ってみようワークショップ

まずは歩くという身近なことから始め、一人で、ペアで、あるいはグループでというようにダンスの状態を変化させ、踊ることの様々な楽しさを実感することのできるワークショップです。

③創ってみようワークショップ

クリエイションに重点をおいて創作のための手がかりをいくつか提示し、それを頼りに、ダンスを創ることの喜びを味わうことのできるワークショップです。成果を互いに発表し、意見交換も行います。

▶対象：3歳以上、経験不問 ▶参加適性人数：20名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間：1コマ120分として2コマ▶必要機材：CDデッキ、ワイヤレスマイク等

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『とこしえに』

結成20周年の節目に創作した記念作品。サントミュージゼ(長野県上田市交流文化芸術センター)で初演し、その後神戸、長崎と上演を続けているセレノグラフィカの最新レパートリー。男と女の身体が一つ一つという、制約があるようで実は無限の可能性を孕んでいることそのものを踊る渾身のデュエット。

▶上演時間：70分

②『鱧と脚の狂騒曲』

結成15周年の節目に創作した記念作品。音と動きのハーモニーはいつしかねじれ、ねじれながらもリフレインし、観客を迷路に誘い込んで行く。キーワードはなんと「鱧」。上演地での出演者が参加するシーンも盛り込まれている。これまで、京都、愛知、福岡、静岡、山梨、長野で上演を重ねている。デュエット版でもトリオ版でも上演可能。

▶上演時間：40分

※上記すべて使用する会場、床の状態、使用機材、スタッフ等については要相談。

市民参加作品

ご参加の方々の世代や男女比、志向性などに応じて構成や演出を考え、その地域の特色ある身体性が豊かに反映される創作を行っています。これに伴い、作品タイトルもその都度オリジナルのものを付けています。(例：「遠い放課後」「ワタシたちの新しいハジマリ」「おやつくらいおいしいダンスの話」など)また、市民参加公演の形態は基本的にホールとの話し合いでベストの形を選択しています。参加(出演)人数・回数、上演環境などは応相談。その他、現地の演奏家や美術家などとのコラボレーションも可能です。